

令和6年度 決算審査



市民のいのちと健康を 大事にする市政に！

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049

奥州市議会9月定例会では、令和6年度の決算について審査が行われました。日本共産党奥州市議団は、市民の福祉向上の立場から市当局を質しました。今回は健康こども部門の決算審査の内容についてお知らせします。

モバイルクリニックの評価は？

菅原明議員は、健康子ども部の決算審査で令和6年度に実施したモバイルクリニック事業についての評価を質しました。

患者や家族から好評

―市当局

これに対し、市当局は、「6年度は、毎週火曜日に加え隔週金曜日に運行した。運行実績は22件の診療だった。患者や家族からは好評で、『対面診療と変わらない』という手紙も届いている。『診療に通うのは大変。自宅の庭先まで来てもらえるので助かっている』という声があった」と述べました。



モバイルクリニックカー
(市HPより)

不具合・支障は生じていない

これに対し、市当局は、「退職後の体制を見据えて、8月に対面診療をおこなない、その後、モバイルクリニックを継続している。その後の状況に不具合・支障は生じていない。現在は、応援の医師に来てもらっている。通常通り診療には支障はない」と述べました。

国保の短期保険証、資格証

交付者への対応は？

千葉敦議員は、2024年12月2日以降、紙の保険証発行が終了したことから、国保の短期保険証、資格証交付者への対応状況について質しました。

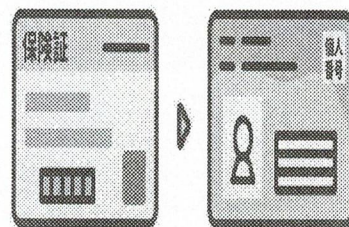
資格証交付世帯は5世帯

短期保険証は廃止に

市当局は、「昨年12月2日以降、有効期限が短い短期保険証は廃止となり、通常の有効期限の資格確認証が交付される。資格証5世帯に対しては、特別療養費の対象者である旨を記載、発行している」と述べました。



今野裕文議員は、わかりにくいマイナカード本体とマイナ保険証の有効期限の関係と期限切れの保険証利用についての対応状況を質しました。



期限切れでも利用できる暫定的措置で対応

市当局は、「マイナカードは電子証明書を用いて運用している。発行日から5回目の誕生日が有効期限。期限の3か月前には通知書が送付され、マイナ保険証利用時に更新アラートが表示される」と述べました。

期限切れの保険証利用については、「国保、後期高齢者医療保険は2025年7月31日が有効期限であるが、2026年3月末まで保険診療を受けられる暫定的な取り扱いが示されている」と述べました。

ヤングケアラーの実態把握の状況は？

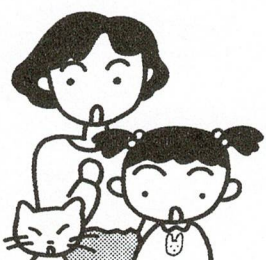
佐藤美雪議員は、第3次子ども

の権利に関する推進計画策定にあたってアンケート調査を行った結果について、「ヤングケアラーの実態が見えてきているが、どのように支援につなげていくのか」質しました。



ヤングケアラーの調査を毎年行っていく

市当局は、「これから支援対象となるヤングケアラーを把握するための調査を少なくとも年1回程度実施することが求められている。実施方法については教育委員会と検討し、実施していきたい」と述べました。



新給食センターでの市内農産物の利用を！

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目 59
Tel 24-2021
Fax 24-2049

奥州市議会令和7年第3回定例会（9月議会）は9月26日開会しました。今定例会中に行われた決算審査における、日本共産党奥州市議団の質疑内容についてお知らせします。

【農林部等】

佐藤美雪議員は、地産地消計画の推進計画の中で、課題としているのが、学校の給食施設へ統合後、市内の農産物が納品されるかどうかが問題として挙げられており、大きなロット数になる事も要因だと思いが、学校給食センターの統合が来年度に迫っている事から、具体的な対応策を検討されているのか、質しました。

教育委員会と連携

担当者は「新しい学校給食センター建設中の近くにある農業生産法人からは、すでに、自分たちで生産しているものを、地元の子供たちに食べてほしいけれども、どうやったら納品できるのかというような話もあり、教育委員会にも情報をつないでいる所である」と述べました。

有機野菜の利用を

佐藤美雪議員は、学校給食に有機野菜を利用してほしいという声が多いので、市内の有機野菜栽培に取り組んでいる農家の生産物を活用すべきでは、と質しました。

地元のものを活用

担当者は「有機野菜や主食米についても、地元施設ができるということ、食べてもらいたいという思いは強くなっていると思うので、教育委員会と連携しながら、地元のものを使えるという方向で進めていきたい」と述べました。



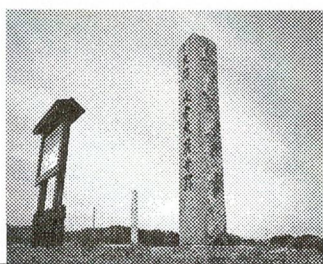
【商工観光部門】

世界遺産の現状は

菅原明議員は、世界遺産連携推進実行委員会の内容と目的について、質しました。

PR活動を盛んに

担当者は「世界遺産連携推進事業については、平泉町が事務局となり、平泉町、一関市を中心に、主幹団体である商工団体を中心に事業を展開した。事業内容は、広域の周遊型の促進事業や教育旅行、2次交通対策に関する懇談会や、誘致事業等様々な事業展開をし、今年度は、平泉インターチェンジの駐車場を活用して、世界遺産祭りを開催し、PR活動を行った」と述べました。



世界遺産登録を目指している長者ヶ原廃寺跡（衣川）

おうしゅう湖エリアの

今後は

今野裕文議員は、おうしゅう湖周辺エリアは、体験型観光委託地域になっており、アウトドア推進協議会の設置準備が、一定の業者が集まって協議されている事から、それらの目的や今後の方向性について質しました。

くらしと人権、平和と憲法守ろう！

市民アクション

自動車パレード&スタンディング（並行開催）

11.1（土曜日）

Zプラザアテルイ駐車場

- ◆ 集会
- ◆ 自動車パレード出発 10:00~12:00
※水沢~江刺で解散
- ◆ スタンディング 10:00~11:00
※Zプラザアテルイ交差点角

あなたも参加を!!

主催/国民大運動胆江地区実行委員会

連絡先/(胆江民商内) 24-0716

自立することが創出に

つながる

担当者は「推進組織については、なるべくなら自主的な活動に繋げればいいとの考えから、行政がいつまでも関わっていくのではなく、自立する流れに進むことがプロジェクトの目標であり、創出につながるものと考えている」と述べました。

今後中小企業へ支援を

奥州市は、物価高騰で影響を受けた中小企業等の下支えとして、国の交付金を活用して、法人に対

有効な対策を検討していく

千葉敦議員は、景気低迷が続く、景気が回復していないので、中小企業等に対して今後支援が必要ではないか、と質しました。

担当者は「基本的には国の交付金が財源であるが、有効な対策について商工団体と情報交換しながら今後も検討していく」と述べるにとどまりました。

しては1004件、8032万円（1法人8万円）、個人事業主には1599件、6396万円（1人4万円）となりました。